

# 広域アクションプラン（関東地域）のフォローアップ報告

---

令和7年3月19日

気候変動適応関東広域協議会事務局  
(関東地方環境事務所 環境対策課)

# 気候変動適応関東広域協議会の活動経緯

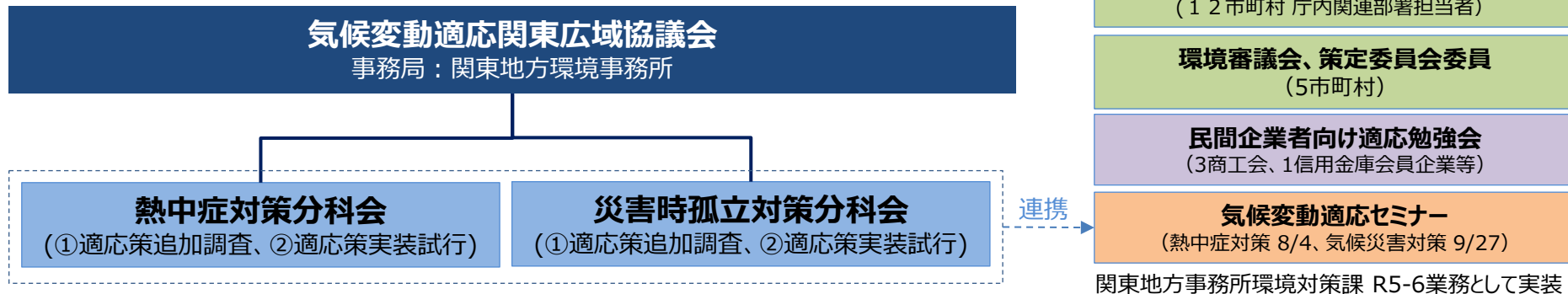
気候変動適応法  
H30.12施行

気候変動適応法  
R6.4改正

| 事業名                                               | 平成29年度                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和 2 年度                                                                                                                                                     | 令和 3 年度 | 令和 4 年度                                                                              | 令和 5 年度                                                                                              | 令和 6 年度 |
|---------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|--------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|
| 地域適応<br>コンソーシアム事業<br>(平成29年度～令和元年度)               | 全国で53の調査及び普及啓発活動を実施<br><br>＜関東地域では以下の 7 調査を実施＞<br>① 夏季の高温・少雨による茶栽培への影響調査（静岡県）<br>② 降水量の増加と社会経済状況の変化を考慮した都市圏の内水氾濫リスク評価（埼玉県）<br>③ 気候変動による印旛沼とその流域への影響と流域管理方法の検討（千葉県）<br>④ 気候変動による節足動物媒介感染症リスクの評価（神奈川県）<br>⑤ 熱中症リスクの評価手法の整理・構築（さいたま市）<br>⑥ 気候変動による高山・亜高山生態系への影響調査（群馬県）<br>⑦ 気候変動による湿地環境への影響調査（新潟市） |        |       |                                                                          |         |                                                                                      |                                                                                                      |         |
| 気候変動適応における<br>広域アクションプラン策定事業<br>(令和 2 年度～令和 4 年度) |                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |        |       | 全国で21のアクションプラン等を策定<br><br>＜関東地域では以下の 2 つのアクションプランと課題ノウハウ集及び事例集を作成＞<br>① 暑熱対策に係る気候変動適応アクションプラン<br>② 災害対策に係る気候変動適応アクションプラン<br>③ 地域気候変動適応計画策定に向けた課題・ノウハウ集及び事例集 |         |  |                                                                                                      |         |
| 気候変動適応<br>地域づくり推進事業関東地域<br>(令和5～ 6 年度)            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |        |       |                                                                                                                                                             |         |                                                                                      | 適応策の実装を支援<br><br>① 熱中症対策分科会活動：暑熱対策に係る試行事業（携帯型・設置型試行の実施と課題の整理）<br>② 災害時孤立対策分科会活動：災害時孤立対策ビジョンの作成と課題の整理 |         |

# 令和5-6年度 協議会・分科会体制

## ◆ 気候変動適応関東広域協議会の運営・体制



### <構成員>

#### <地方自治体>

茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、山梨県、静岡県、さいたま市、千葉市、横浜市、川崎市、相模原市、新潟市、静岡市、浜松市

#### <地域気候変動適応センター>

茨城大学、栃木県環境森林部、群馬県知事戦略部、埼玉県環境科学国際センター、千葉県環境研究センター、東京都気候変動適応センター、神奈川県環境科学センター、新潟県保健環境科学研究所、山梨県環境・エネルギー部、静岡県環境衛生科学研究所、川崎市環境総合研究所

#### <地方支分部局>

農林水産省 関東農政局、北陸農政局、関東森林管理局  
経済産業省 関東経済産業局  
国土交通省 関東地方整備局、北陸地方整備局、中部地方整備局、  
関東運輸局、北陸信越運輸局、中部運輸局  
気象庁 東京管区気象台  
環境省 関東地方環境事務所（事務局）

### <アドバイザー（兼分科会座長）>

敬称略 五十音順

| 氏名                 | 所属                                           |
|--------------------|----------------------------------------------|
| 小野 雅司              | 国立環境研究所 エコチル調査コアセンター 客員研究員                   |
| 加藤 孝明              | 東京大学 生産技術研究所 人間・社会系部門<br>都市基盤安全工学国際研究センター 教授 |
| 国立環境研究所 気候変動適応センター |                                              |

### <オブザーバー>

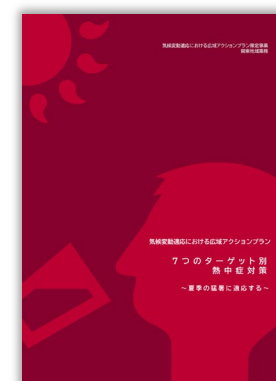
1都9県の区市町村（82）、関東管内地域気候変動適応センター（8）、  
関東管内地方気象台（9）、文部科学省、環境省気候変動適応室、  
地域地球温暖化防止活動推進センター（15）

## フォローアップの概要

- 令和2～4年度に実施した「気候変動適応における広域アクションプラン策定事業関東地域業務」において取りまとめ、令和5年3月に公表した「気候変動適応における広域アクションプラン」の活用状況について把握するため、関東広域協議会メンバーおよび各分科会メンバーのみなさまに向けてアンケート調査を実施。調査概要は以下の通り。

### アンケート調査概要

|         |                                                                   |
|---------|-------------------------------------------------------------------|
| 調査期間    | 2025年11月8日～2025年11月29日（協議会構成員）<br>2025年12月6日～2025年12月24日（分科会メンバー） |
| 調査方法    | Excel形式の調査票を電子メールにて送付                                             |
| 調査対象    | 気候変動適応関東広域協議会メンバーおよび各分科会メンバー                                      |
| 調査内容    | 気候変動適応における広域アクションプランの活用状況等<br>（質問項目等はP. 2以降参照）                    |
| 調査票配布数  | 170件                                                              |
| 調査票回収数  | 54件（うち有効回答数：53件）                                                  |
| 回答者属性内訳 | 地方支分部局 1    都県・政令市 16    区市町村 36<br>（1つの組織の複数部署から回答されたケースも含まれる）   |



# フォローアップの概要

- アンケート調査の質問項目は以下の通り。（回答者情報＋14問）

## A. ご回答者様について全ての欄にご記入ください。

貴自治体名  
適応業務の従事年数  
ご所属部署  
ご氏名  
役職  
Eメール  
TEL

## B. 広域アクションプランの認知について

《問1》広域アクションプランの入手方法についてご回答ください(複数回答可)。

1. 冊子で入手(事務局から郵送)
2. 協議会・分科会の資料としてPDFを入手した
3. A-PLATよりPDFをダウンロードし入手した
4. 入手していない

《問2》広域アクションプランの入手後の状況についてご回答ください。

1. 入手時に一度見た程度
2. 数回閲読したことがある
3. 頻繁に閲読している
4. 一度も見たことがない

《問3》問2で、「1. 入手時に一度見た程度」「2. 数回閲読したことがある」「3. 頻繁に閲読している」のいずれかのご回答をされた方にお伺いします。広域アクションプランを閲読した感想についてご自由にご回答ください。

《問4》問1で「4. 入手していない」または問2で「4. 一度も見たことがない」とご回答された方にお伺いします。広域アクションプランを閲読していない理由についてご回答ください。

## C. 広域アクションプランの内容について

《問5》広域アクションプランのわかりやすさについてご回答ください。

1. 非常にわかりやすい
2. わかりやすい
3. どちらでもない
4. わかりにくい
5. 非常にわかりにくい

《問6》問5で、広域アクションプランの内容について、「4. わかりにくい」または「5. 非常にわかりにくい」とご回答された方にお伺いします。広域アクションプランをわかりにくいと感じた箇所についてご回答ください。

《問7》広域アクションプランに記載されている情報量についてご回答ください。

1. 情報量が多い
2. 情報量は適切である
3. 情報量が不足している

《問8》問7で、広域アクションプランの情報量について、「1. 情報量が多い」または「3. 情報量が不足している」とご回答された方にお伺いいたします。余分だと感じた情報、追加すべきであると感じた情報についてご回答ください。

《問9》ご関心の高い分野についてご回答ください(複数回答可)。

1. 暑熱対策
2. 災害対策
3. 地域適応策検討
4. その他(冊子がない分野で特に関心のある分野があればご教示ください)

《問10》以下分野の広域アクションプランについて、特にご関心の高い章についてご回答ください(複数回答可)。

【暑熱対策】

- 第1章 気候変動と熱中症
- 第2章 熱中症対策の課題とターゲット
- 第3章 7つのターゲット別の適応アクション
- 第4章 適応策の実装に向けて

【災害対策】

- 第1章 人間活動により進む気候変動
- 第2章 気象災害と孤立
- 第3章 気候変動適応アクション
- 第4章 適応策の実装に向けて

# フォローアップの概要

## D. 広域アクションプランの活用について

《問11》これまでに広域アクションプランを共有・閲覧した部局等についてご回答ください(複数回答可)。

1. 健康福祉部局
2. 防災部局
3. 農林水産部局
4. 住宅・都市関連部局
5. 道路・上下水道関連部局
6. これまでに広域アクションプランを共有したことはない
7. その他の組織等(自由記述)

《問12》広域アクションプランの記載内容に関連して問い合わせた先があればご回答ください(複数回答可)。

1. 自治体
2. 民間企業
3. 事務局(関東地方環境事務所)
4. 問い合わせたことはない
5. その他(自由記述)

《問13》広域アクションプランの記載内容を関連業務や関連計画・資料等に一部でも活用されましたか。

1. 活用した
2. 活用したことはない

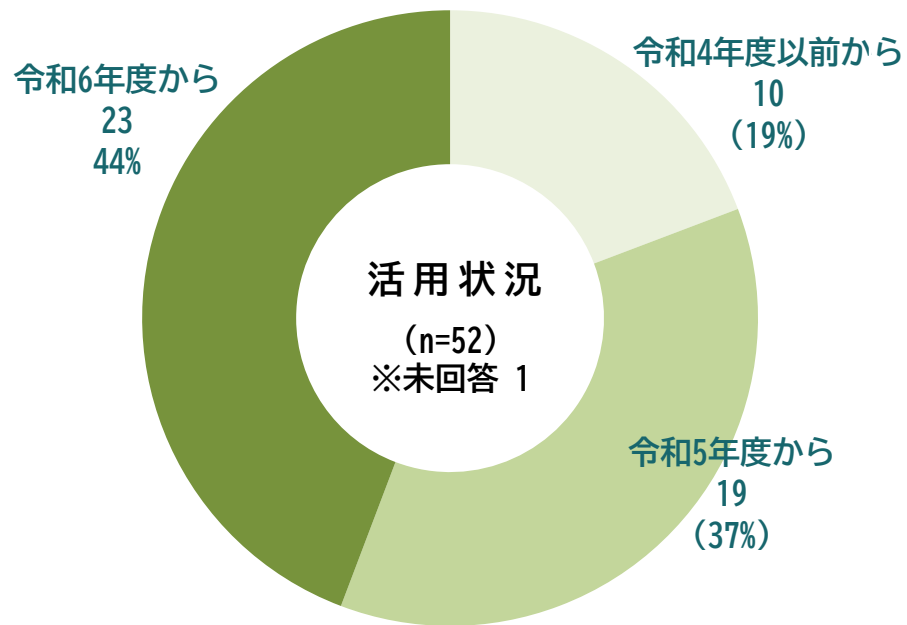
《問14》問13で「1. 活用した」とご回答された方にお伺いいたします。広域アクションプランの記載内容を活用した施策や計画があればご回答ください(複数回答可)。

1. 地域気候変動適応計画
2. 地域防災計画
3. 都市計画マスタープラン
4. その他計画等(自由記述)

アンケートは以上

## A.回答者の属性について（適応業務の従事年数）

### 適 応 業 務 の ご 経 験

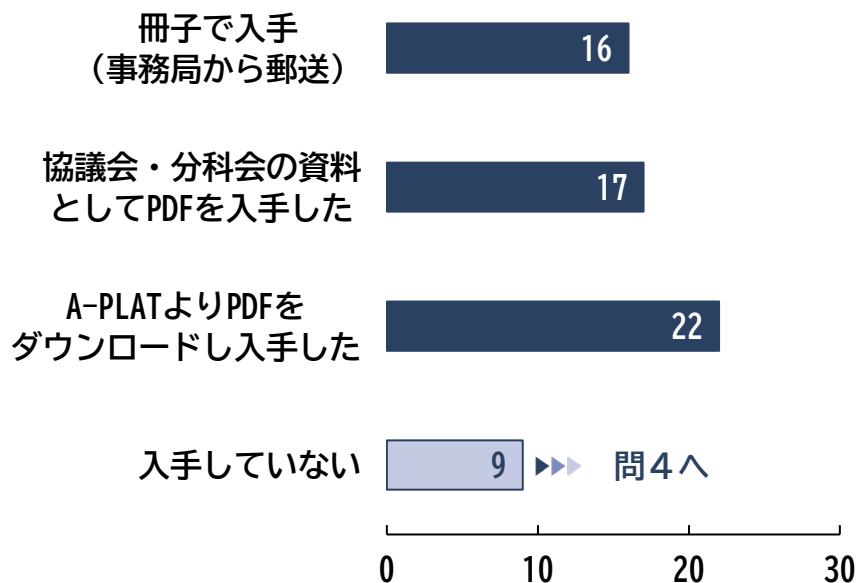


- ▶ 令和4年度以前から適応業務に従事してる回答者は2割程度であった。

## B.広域アクションプランの認知について

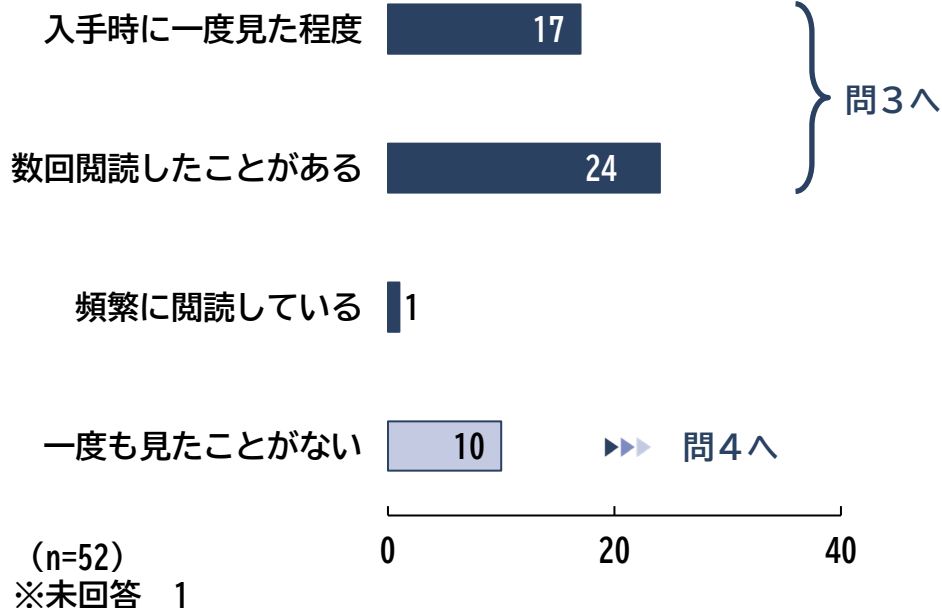
### 問1 入手方法

(複数回答可)



- ▶ 昨年度と比較して、A-PLATよりPDFをダウンロードし入手した回答者の割合が増えている
- ▶ 広域協議会構成員もしくは分科会メンバーであっても未入手の場合もある

### 問2 入手後の状況



- ▶ ほとんどの回答者が、一度以上目にしている、もしくは複数回閱讀したと回答した

## B.広域アクションプランの認知について

### 問3 読んだ感想

(自由回答、一部抜粋)

#### 内容・構成

- ターゲット別に対応方法が記載されており、「誰が」、「コスト」や「効果の程度」等がページ右上に記載されていて、理解しやすかった
- 豊富なデータや事例等がわかりやすく整理されており、経験の浅い担当者にとって有用な情報が多く得られた
- 地域気候変動適応計画策定に向けた課題・ノウハウ集について、先行している自治体の担当者の声が掲載されており、参考になった

#### 活用例

- 県の地球温暖化対策計画改定や熱中症対策に係る事業を検討する際の参考資料として活用した
- クーリングシェルター設置時や翌年度予算要求時に参考にした
- 熱中症特別警戒アラート発表時のイベント開催について検討する際の資料として活用した

#### 課題認識

- 適応センターとして適応策推進の担当課には情報を共有しているのが、人的・金銭的成本が高いため、なかなか実際に役立てることが難しい
- ステークホルダーで実施体制のイメージが示されているのは良いが、いずれも成功事例をまとめたものであり、その前段階の準備作業から掘り下げて示して頂けると更に良い

### 問4 未入手または未読の理由

(自由回答、一部抜粋)

#### 認知不足

- 広域アクションプランを知らなかった
- 今回のアンケート調査でアクションプランを知った

#### 多忙・人手不足

- ダウンロードはしたが閱讀する時間がなかった

## C.広域アクションプランの内容について

### 問5 わかりやすさ

非常にわかりやすい 4

わかりやすい 34

どちらでもない 4

わかりにくい 1

非常にわかりにくい 0

} 問6へ

(n=43)

0

25

50

### 問6 わかりにくい箇所

(自由回答、一部抜粋)

- 内容ではなく多様な色を使っているため視覚的に見にくい

- ▶ 多くの回答者が「非常にわかりやすい」または「わかりやすい」と回答したが、「わかりにくい」とする回答も見られ、多様な色を使っていることに起因する視覚的な見づらさについて指摘があった（問6参照）

## C.広域アクションプランの内容について

### 問7 情報量

情報量が多い 0

情報量は適切である 43

情報量が不足している 0

(n=43)

0

70

- ▶ すべての回答者が「情報量は適切である」と回答した。

### 問8 情報の多寡について

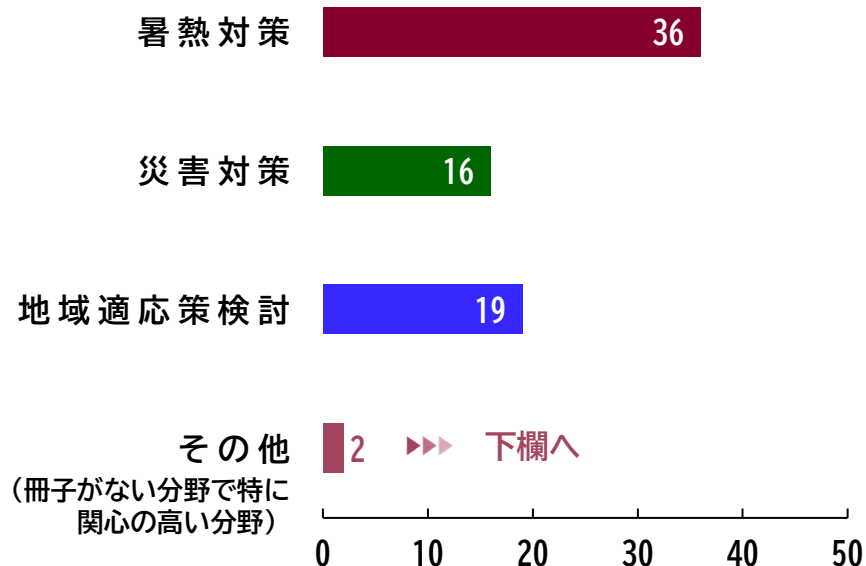
(自由回答)

「情報量が多い」または「情報量が不足している」という回答はなかった

## C.広域アクションプランの内容について

### 問9 関心の高い分野

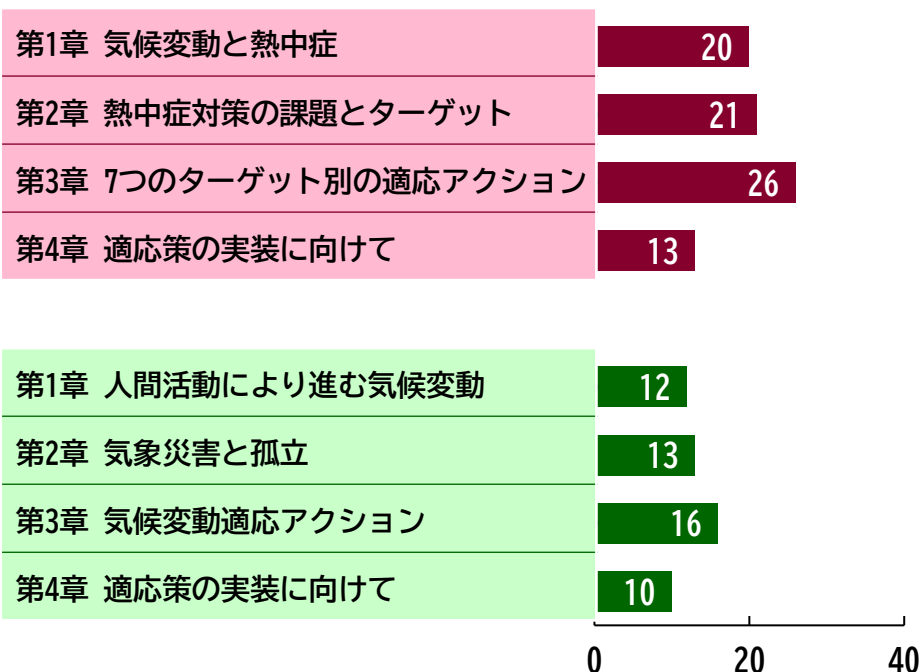
(複数回答可)



- ▶ 前回の調査と比較して、「地域適応策検討」に関心を持つ回答者の割合が増えた
- ▶ 「その他」には「都市インフラ」、「中小企業における気候変動適応ビジネスの推進」があった

### 問10 特に関心の高い章

(複数回答可)

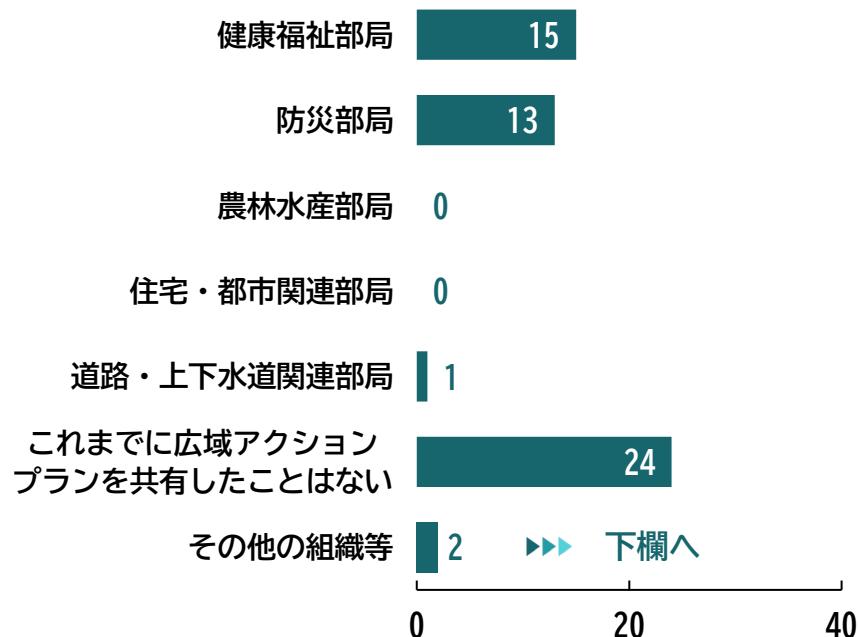


- ▶ 前問の回答結果同様、特に「暑熱対策」の各章に高い関心が持たれ、熱中症が喫緊の社会課題であることが推察される
- ▶ 「暑熱対策」、「災害対策」いずれも具体的な適応アクションに関する章に高い関心が持たれた（いずれも複数回答）

## D.広域アクションプランの活用について

### 問11 共有・閲覧先部局等

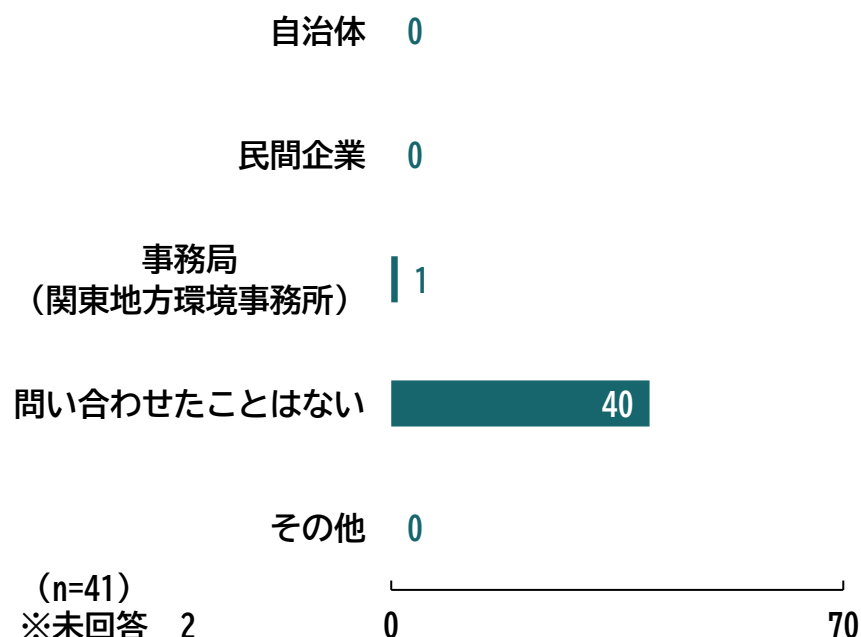
(複数回答可)



- ▶ 半数以上の回答者が「これまでに広域アクションプランを共有したことはない」と回答した一方、「健康福祉部局」、「防災部局」への共有・閲覧を行った例も一定数見られた
- ▶ 「その他組織等」には、「消防部局」「県内自治体から適応策に係る相談などがあつた際、参考資料として紹介した」の回答が得られた。

### 問12 内容についての問い合わせ先

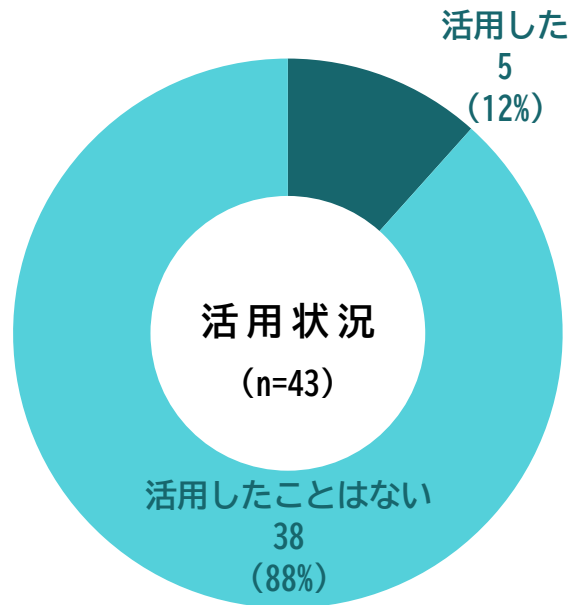
(複数回答可)



- ▶ ほとんどの回答者がアクションプランの記載内容に関連して「問い合わせをしたことはない」と回答した

## D.広域アクションプランの活用について

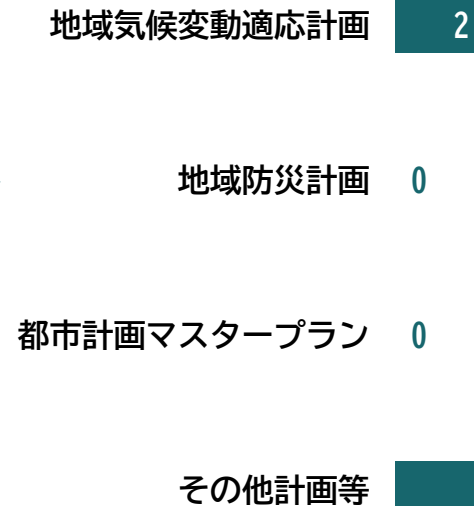
### 問13 関連計画や業務・資料等への活用



- ▶ 「活用した」という回答が約1割ある一方、「活用したことはない」という回答が8割以上を占めた

### 問14 活用した施策や計画

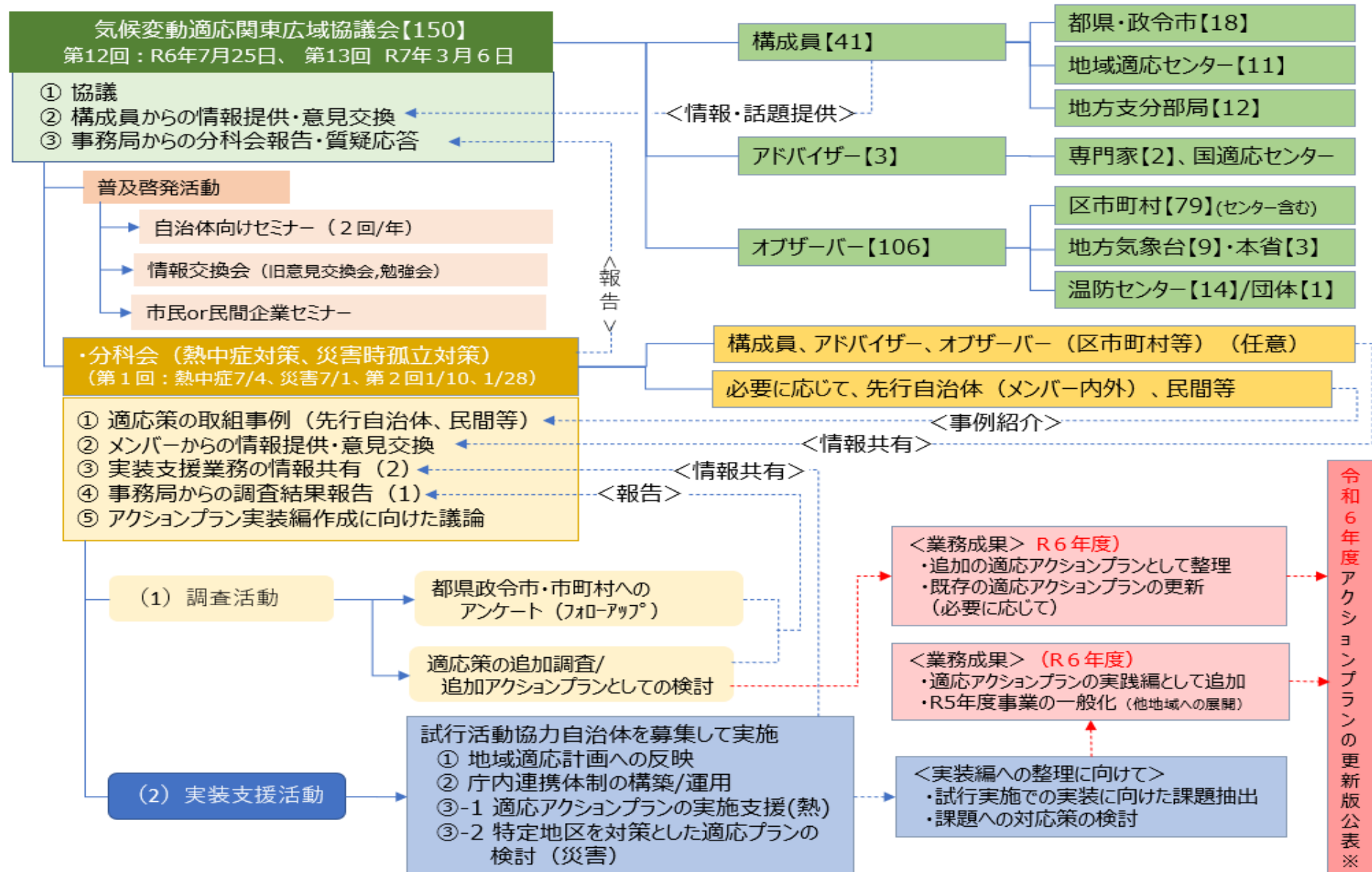
(複数回答可)



▶▶▶ 下欄へ

- ▶ 地域適応計画の策定・改定への活用のほか、「その他計画等」に、「国立保健医療科学院「保健医療科学」熱中症特集号の依頼原稿作成」、「高齢者向けの取組を参考にし事業を展開」、「クーリングシェルター設置検討時の資料・翌年度当初予算要求時の資料」などに活用した旨の回答が得られた

# R5-6 年度熱中症対策分科会 試行実施の概要（携帯型試行、設置型試行の位置づけ）



# R6年度熱中症対策分科会 試行実施の概要（携帯型試行、設置型試行の位置づけ）

## ◆ アクションプラン実装支援（熱中症対策）との連携

以下のような作業を実施しつつ、適応策のアクションプランの実装を目指す

- ① 地域気候変動適応計画へ適応策としての反映（影響評価とペア）【制度としての実装】
- ② 庁内体制の整備、連絡会等の創設・運営（適応策の検討）【体制としての実装】
- ③ 適応策の実施（適応アクションプランを参考に実施）及び評価【対策としての実装】
- ④ 課題・ノウハウ等を既存アクションプランへの反映（実装編）、協議会報告や普及啓発セミナーでの発表

### ① 気候変動適応計画へ適応策としての反映

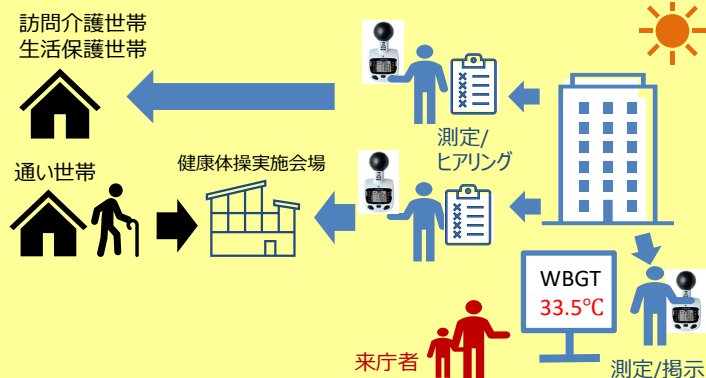


### ② 庁内体制の整備、連絡会等の創設・運営



### ③ 適応策の実施（適応アクションプランを参考に実施）及び評価

#### 携帯型試行（簡易測定機の活用と高齢者等ヒアリング）



#### 設置型試行（自動測定機の活用）

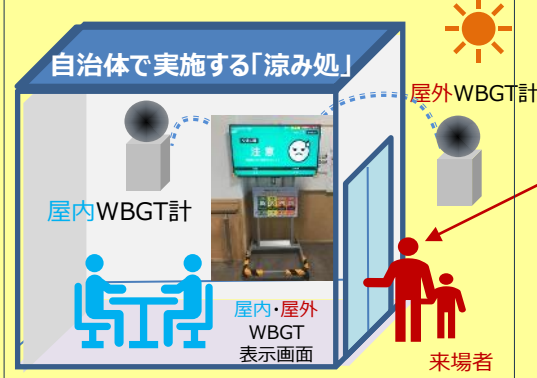


表 3.1 各ターゲットと適応アクション

| ターゲット   | リスク               | シナリオ                            | 適応アクションのテーマ                  | 適応アクションの具体例                                                                                                                  |
|---------|-------------------|---------------------------------|------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 高齢者等  | 高齢者               | 日中・昼間<br>外出中<br>本人              | 1-1 危険度の適切な伝達と行動変容を促す        | 1-1A 暑熱環境や熱中症リスクの可視化による啓発<br>1-1B 民間企業・市内関係部署との連携による普及啓発                                                                     |
| 2 農作業等  | 農業者等<br>(一人暮らしの方) | 夜間<br>住居<br>本人                  | 1-2 夜間に生じる高齢者の熱中症被害を防ぐ       | 1-2A IoT活用による適切な室内環境の整備に向けた実証実験<br>1-3A 身体の水能力向上に向けた能力トレーニング啓発<br>1-3B 地域の特性・状況に応じた普及啓発の実施<br>1-3C リスクの高い高齢者にに向けたピンポイント支援の実施 |
| 3 工事現場等 | 農業者等              | 日中・昼間<br>仕事場<br>本人              | 2-1 農作業者の暑熱環境改善              | 2-1A 熱中症対策セミナーを通じた暑熱環境改善の取組                                                                                                  |
| 4 建設現場等 | 工事現場等<br>作業員      | 日中・昼間<br>仕事場<br>管理者             | 3-1 建設作業員の暑熱環境改善             | 3-1A 建設現場における熱中症対策の導入および実施                                                                                                   |
| 5 運動場等  | 青少年・高齢者           | 運動中<br>運動施設<br>(屋内外)<br>管理者     | 4-1 運動施設・まちなかの環境的な対策         | 4-1A 高齢者・小学生・幼児向け熱中症予防グッズ配布事業<br>4-1B 運動公園への日陰創出<br>4-1C 熱中症警戒アラートの活用<br>4-1D クーリングシェルター（まちなかオアシス）の設置                        |
| 6 イベント等 | イベント参加者           | 日中・昼間<br>イベント会場<br>(屋内外)<br>管理者 | 5-1 イベント時の熱中症を予防             | 5-1A イベント当日における熱中症対策の検討・実施<br>5-1B イベント開催時間の変更による暑熱回避                                                                        |
| 7 学校等   | 子ども               | 日中・昼間<br>(運動中)                  | 6-1 モニタリングシステムの活用及びガイドラインの作成 | 6-1A 幼児向けガイドラインによる熱中症予防・回避行動<br>6-1B 小学生向けガイドラインによる熱中症予防・回避行動<br>6-1C 中学生向けガイドラインによる熱中症予防・回避行動<br>6-1D WBGT計を用いた熱中症リスクの可視化   |
| 8 車中    | 乳幼児               | 日中・昼間<br>車中<br>保護者              | 7-1 車中の熱中症事故を防ぐ              | 7-1A 警察と連携した普及啓発活動<br>7-1B 関係団体・商業施設と連携した普及啓発活動                                                                              |
| その他     | 分野横断的な取組          | その他                             | その他                          | その他<br>データ収集・対策促進の自治体間連携                                                                                                     |

※設置場所によりターゲットが異なる

# R6年度改訂の概要

## 改訂の概要：適応アクションの追加と適応アクション実践における課題と対策案

<R2-4年度作成（公表済）>

表 3.1 各ターゲットと適応アクション

| ターゲット          | リスクシナリオ                          | 適応アクションのテーマ                  | 適応アクションの具体例                                                                                                                |
|----------------|----------------------------------|------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 高齢者等         | 高齢者 日中・昼間 外出中 本人                 | 1-1 危機感の適切な伝達と行動改善を促す        | 1-1A 暑熱増悪環境や熱中症リスクの可視化による啓発<br>1-1B 民間企業・庁内関係部署との連携による普及啓発                                                                 |
|                | 高齢者 夜間 住民 本人                     | 1-2 夜間に生じる高齢者の熱中症被害を防ぐ       | 1-2A IoT活用による適切な室内環境の整備に向けた実証実験                                                                                            |
|                | 高齢者等（一人暮らしの方等） 日中・昼間 住居 管理者、周囲の人 | 1-3 地域や個人の特性に応じたピンポイント支援     | 1-3A 身体の保水能力向上に向けた筋力トレーニング啓発<br>1-3B 地域の特性・状況に応じた普及啓発の実施<br>1-3C リスクの高い高齢者に向けたピンポイント支援の実施                                  |
| 2 農業者等         | 農業者 日中・昼間 仕事場 本人                 | 2-1 農作業者の暑熱環境改善              | 2-1A 熱中症対策セミナーを通じた暑熱環境改善の取組                                                                                                |
| 3 工事現場等作業員     | 工事現場等作業員 日中・昼間 仕事場 管理者           | 3-1 建設作業員の暑熱環境改善             | 3-1A 建設現場における熱中症対策の導入および実施                                                                                                 |
| 4 施設内の人        | 青少年～高齢者 運動中 運動施設（屋内外） 管理者        | 4-1 運動施設・まちなかでの総合的な対策        | 4-1A 高齢者・小学生・幼児向け熱中症予防グッズ配布事業<br>4-1B 運動公園への日陰創出<br>4-1C 熱中症警戒アラートの活用<br>4-1D クーリングシエスタ（まちなかオアシス）の設置                       |
| 5 イベント参加者      | イベント参加者 日中・昼間 イベント会場（屋内外） 管理者    | 5-1 イベント時の熱中症を防ぐ             | 5-1A イベント当日における熱中症対策の検討・実施<br>5-1B イベント開催時期の変更による暑熱回避                                                                      |
| 6 学校生活での児童・生徒等 | 子ども 日中・昼間（運動中等） 学内等 教職員、本人等      | 6-1 モニタリングシステムの活用及びガイドラインの作成 | 6-1A 幼児向けガイドラインによる熱中症予防・回避行動<br>6-1B 小学生向けガイドラインによる熱中症予防・回避行動<br>6-1C 中学生向けガイドラインによる熱中症予防・回避行動<br>6-1D WBGT計を用いた熱中症リスクの可視化 |
| 7 車中の乳幼児       | 乳幼児 日中・昼間 車中 保護者                 | 7-1 車中の熱中症事故を防ぐ              | 7-1A 警察と連携した普及啓発活動<br>7-1B 関係団体・商業施設と連携した普及啓発活動                                                                            |
| その他            | 分野横断的な取組                         | その他                          | データ収集・対策促進の自治体間連携                                                                                                          |

## ●R5-6年度試行事業

### ◎ 適応アクションの追加

- 追加 I -① デジタルサイネージを活用した啓発
- 追加 I -② 配送員等の暑熱対策改善
- 追加 I -③ 体育館や校庭等へのドライミスト設置
- 追加 I -④ 保育園・学校等へのフラクタル日よけの設置

追加 II 涼み処の事例 ※他ターゲットにも活用可能

### ◎ 適応アクション実践における課題と対策案

<携帯型試行>

- ① 小田原市 簡易WBGT計による計測について
- ②-1 所沢市 生活保護者世帯等のエアコン等の使用実態等調査
- ②-2 上野村 要介護・要支援者世帯等の同上の調査

<設置型試行>

- ① 所沢市 施設内外のWBGT詳細計測・見える化と意識調査
- ② 開成町 施設内外のWBGT詳細計測・見える化と意識調査

# 令和5-6年度試行活動の目的

## ◆ アクションプラン実装支援（災害時孤立対策）との連携

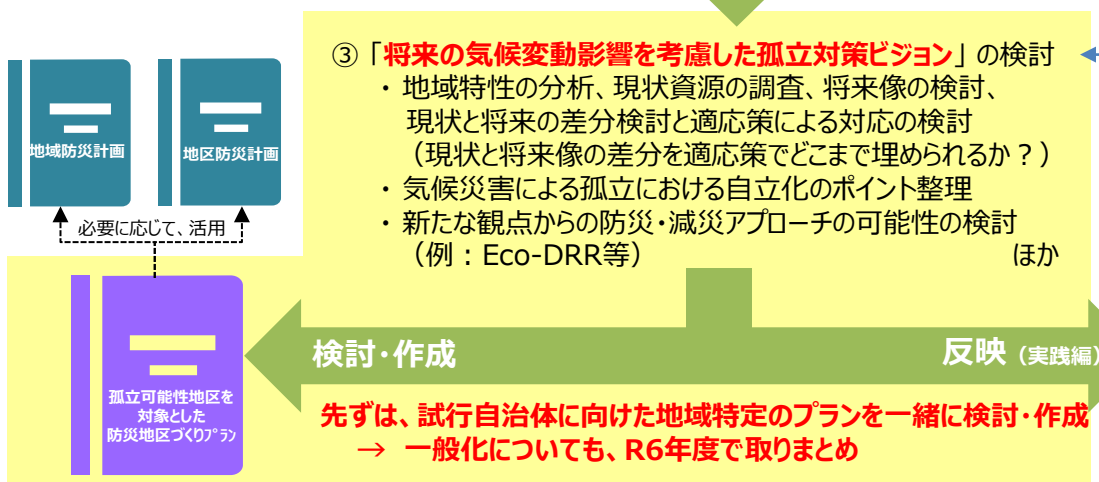
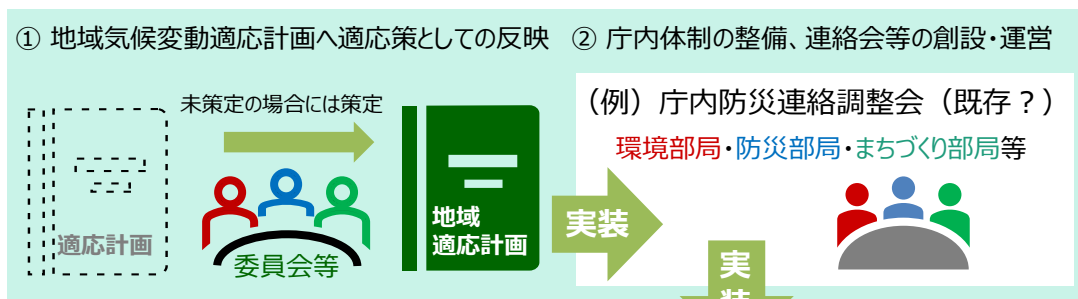
以下のような作業を実施しつつ、適応策の実装を目指す。

- ① 地域気候変動適応計画へ適応策としての反映（影響評価とペア）
- ② 庁内体制の整備、連絡会等の創設・運営（適応策の検討）
- ③ アクションプランを参考に「**将来の気候変動影響を考慮した孤立対策ビジョン**」の検討 【特定プランの検討・実装】
- ④ 課題・ノウハウ等を既存アクションプランへ反映（実装編）、協議会報告や普及啓発セミナーでの発表

【制度としての実装】

【体制としての実装】

【特定プランの検討・実装】



| 適応アクションのテーマ |                            | 自助 | 共助 | 公助 | 農村 | 漁村 | 都市 |
|-------------|----------------------------|----|----|----|----|----|----|
| 電気          | A-1 次世代自動車による電力供給          | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  |
|             | A-2 地域マイクログリッドによる災害時停電「ゼロ」 | △  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  |
|             | A-3 ZEHによる減災×省エネ           | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  |
| 熱・ガス        | B-1 森林資源の災害時活用             | ○  | ○  | △  | ○  | ○  | -  |
|             | B-2 コジエネによる熱の確保            | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  |
| 水道          | C-1 雨水の災害時活用               | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  |
|             | C-2 井戸水の災害時活用              | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  |
|             | C-3 空気から水を創る空気製水機          | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  |
| 情報通信        | D-1 シェアリングで災害時もつながる        | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  |
|             | D-2 ドローンや船舶を活用した通信の確保      | -  | ○  | △  | ○  | ○  | ○  |
| 医療等         | E-1 ドローンによる物流の維持           | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | △  |
|             | E-2 オンライン診療の災害時活用          | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  |
| 廃棄物・トイレ     | F-1 災害廃棄物への事前の備え           | △  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  |
|             | F-2 災害時のトイレ確保              | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  |
| その他         | G-1 既存施設の防災機能強化            | -  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  |

○ … 取り組みやすい △ … 取り組むことが可能 - … 取り組みにくい

（いずれも事務局の判断による）

# R6 年度改訂の概要

## 改訂の概要：適応アクションの追加と適応アクション実践における課題と対策案

### <R2-4年度作成（公表済）>

|         | 適応アクションのテーマ                | 自助 | 共助 | 公助 | 農村 | 漁村 | 都市 |
|---------|----------------------------|----|----|----|----|----|----|
| 電気      | A-1 次世代自動車による電力供給          | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  |
|         | A-2 地域マイクログリッドによる災害時停電「ゼロ」 | △  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  |
|         | A-3 ZEHによる減災×省エネ           | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  |
| 熱・ガス    | B-1 森林資源の災害時活用             | ○  | ○  | △  | ○  | ○  | —  |
|         | B-2 コジェネによる熱の確保            | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  |
| 水道      | C-1 雨水の災害時活用               | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  |
|         | C-2 井戸水の災害時活用              | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  |
|         | C-3 空気から水を創る空気製水機          | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  |
| 情報通信    | D-1 シェアリングで災害時につながる        | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  |
|         | D-2 ドローンや船舶を活用した通信の確保      | —  | ○  | △  | ○  | ○  | ○  |
| 医療等     | E-1 ドローンによる物流の維持           | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | △  |
|         | E-2 オンライン診療の災害時活用          | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  |
| 廃棄物・トイレ | F-1 災害廃棄物への事前の備え           | △  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  |
|         | F-2 災害時のトイレ確保              | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  |
| その他     | G-1 既存施設の防災機能強化            | —  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  |

○ … 取り組みやすい △ … 取り組むことが可能 — … 取り組みにくい  
(いずれも事務局の判断による)

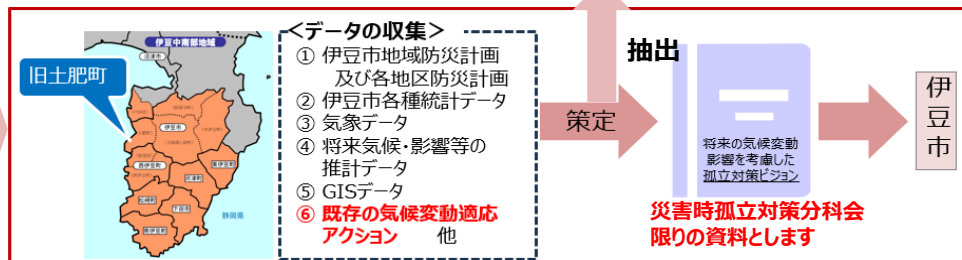
### ● R5-6年度試行事業

#### ◎ 適応アクションの追加

|          |     |                        |
|----------|-----|------------------------|
| 更新【電気】   | A-2 | 地域マイクログリッドによる災害時停電「ゼロ」 |
| 新規【電気】   | A-4 | 塩水から電気を創る発電機           |
| 新規【熱・ガス】 | B-3 | 災害時にも活用できる雪氷熱          |
| 新規【水道】   | C-4 | 入浴、手洗いに再生水を用いる         |
| 更新【医療等】  | E-1 | ドローンによる物流の維持           |

#### ◎ 適応アクション実践における課題と対策案

- ・（気象災害）災害時に孤立する可能性の高い地区（沿岸の漁村地区、中山間地区の農村地区、都市域の高層マンション群地区）を対象として、適応アクションの実装の可能性を検討した
- ① 漁村地区：伊豆市土肥地区災害時孤立対策ビジョンの作成にあたっての課題や対策案を整理した上で、千葉県いすみ市へヒアリングを実施
- ② 農村地区：①をもとに群馬県上野村へのヒアリング
- ③ 高層マンション群地区：高層マンションにも有効と思われる適応アクションの検討



# 気候変動アクションプランの公表

- 気候変動適応関東広域協議会作成の  
気候変動アクションプラン（R4年度版：初版）は、  
A-PLATよりダウンロード可能  
[https://adaptation-platform.nies.go.jp/moej/action\\_plan/index.html](https://adaptation-platform.nies.go.jp/moej/action_plan/index.html)

- R5-6年度改訂版の作成に向けた追加分資料については、  
第13回気候変動適応関東協議会(3/6)にて承認いただき、  
関東地方環境事務所のHPにて協議会資料として公開中  
[https://kanto.env.go.jp/topics\\_00330.html](https://kanto.env.go.jp/topics_00330.html)
- 気候変動アクションプラン（R6年度版：改訂版）は、  
A-PLATよりR7年4月以降にダウンロード可能になる予定



約200ページ



約260ページ